

東京小諸会信條  
本会は、東京都及びその周辺に在住する小諸市出身者とその関係者をもって組織し、会員相互の親睦を厚くし、その向上と郷土の発展並びに社会文化に貢献する。

# 東京小諸会報

(題字・初代会長 小山邦太郎先生)

第26号  
発行 平成14年11月16日  
編集・発行 東京小諸会  
〒105-0003  
東京都港区西新橋1-7-14 堀見ビル  
世界経済研究協会内 東京小諸会  
電話 (03)3501-1321 (代表)  
FAX (03)3501-1420



本日は、御高齢にもかかわりませず、日本芸術員会員白鳥映雪画伯が特に御臨席下さり

大変光栄に存じます。そして、小諸市より、小林俊弘市長、小林保二議長はじめ市議会議員の皆様、香坂勝商工会議所会頭ほか有力な方々が多数、非常にお忙しい中を、遠路はるばるお越し下さい、まことに有難うございます。また、会員の皆様には、万障御縁合わせ御出席下さり、感謝に堪えません。さらに、小林忠司長野県議会議員、我山惇長野県人会連合会常務理事、山田郁子東京滑川会会长、石川隆同副会長、石倉京子同理事、山崎延秋東京上田会相談役、山浦和人竹花工業会長、小川正元三ツ和会長、斎藤治雄長野野放送専務取締役ほかにおかれましては、本会のため特に貴重なお時間をおさき下さり、厚く御禮申し上げます。

さて、今年は、まず悲しいことから申し上げなければなりません。本会と御縁が深かつた経済評論家の三鬼陽之助先生が、さる十月五日おなくなりに

## 来年の東京小諸会・総会・大懇親会は 十一月八日(土)如水会館二階スターホールで

来年の東京小諸会総会・大懇親会は、十一月八日(土)正午から、今年と同様、東京都千代田区一ツ橋二十一の如水会館二階スターホールで開催することに決定いたしました。どうぞ今から予定にお入れになつて、多数御参加下さいますよう御願い申し上げます。

平成十四年十一月十六日

東京小諸会

## 東京小諸会平成十四年度総会・大懇親会を迎えて

東京小諸会会长 藤澤嘉雄

なつたのです。九十五歳であられましたから、天寿を全うされたといえるかもしれません。東京小諸会としては、東京小諸会を失いましたのは痛恨のきわみであります。

三鬼先生は、別項の「財界」誌で述べておられるようないきさつで、中学生時代から島崎藤村を敬慕しておられました。そこで、平成二年、当時の塩川忠巳市長と御相談して、八月二十二日の藤村忌の折、先生御夫妻を小諸に二泊三日お招きいたし、小諸グランドキヤッスルホテルにお泊りいただきました。そして、塩川市長の御案内で小諸会・懇親会にはほとんど毎回御出席下さい、その都度、小諸に対する励まし

のお言葉を述べられました。十一月一日、午後一時から、財界研究所のお別れの会がキヤピタル東急ホテルで行われましたが、これには千名を超す方が参列いたしました。私ももちろん参列させていただきましたが、これには千名の喪主のたか夫人は、前述の小諸を訪れ

られたとのことをよく憶えておられ、私に特に言及されました。会員の皆様とともに、謹んで心から先生の御冥福を御祈り申し上げます。

ところで、小林市長の別項の御寄稿

よりますと、ふるさと小諸市では、浅間山、千曲川などの緑豊かな自然を基本とし、長年培われてきた歴史、文化遺産、

懐古縁などを生かしたまちづくりを、市民と行政が一体になつて進め、商業・工業・農業・観光のバランスのある振興と市民福祉の向上を目指しているとのことです。

ですが、まことにいい目標であると思します。その具体的な諸施策については市長の御寄稿をお読みいただきたいと思しますが、どの施策も私は結構と思います。また、別項の小諸新聞九月十三日号の小諸市議会の9月定例会に関する記事についても私は全面的に賛成です。小諸市議会において、「小諸の歴史や文化など小諸らしいことを大事にし、小諸市独特の道を歩む」と宣言されたといふことです。幸い、小諸市議会にはほとんど毎回御出席下さい、その都度、小諸に対する励まし

は佐久市などと合併せず、小諸らしさを生かして発展するのがいいのです。幸い、市長の御答弁によりますと、小諸市は健全財政であるとのことですからなおさりです。総務省は、合併した自治体には「合併特例債」の発行を認めるとしています。しかし、十月二十七日付日本経済新聞によりますと、合併特例債の発行によつて自治体は大型公共事業に手を出して、赤字がひどくなることが懸念されます。小諸市は、そのような道を選ばない方が賢明なのです。

次に、冒頭に、今回は、日本芸術員白鳥映雪画伯が特に御臨席下さつてられる」と述べましたが、実はこれは先生に私が特に御願い申し上げたのです。申しますのは、この五月二十六日、小賀蘭ントキヤッスルホテルでの先生の寿と自伝「祈り遙かに」の出版を祝う盛大に催されました。そして、その祝会に市川源太郎副会長と共に出席し、先生の自伝を拝読して深い感銘を受けた

## 総会・大懇親会次第

### 開会

### 「信濃の国」斎唱

### 会長あいさつ

### 会員慶弔

### 物故者への黙祷

### 議事

### 会務報告

### 会計報告

### 会計監査報告

### 来賓紹介・祝辞

### 鏡開き

### 乾杯

### 開宴・歓談・福引

### 閉会の辞

### 大懇親会

### 来賓紹介・祝辞

### 鏡開き

### 乾杯

### 開宴・歓談・福引

### 閉会の辞

### 大懇親会

### 来賓紹介・祝辞

### 鏡開き

### 乾杯

### 開宴・歓談・福引

### 閉会の辞

### 大懇親会

### 来賓紹介・祝辞

### 鏡開き

### 乾杯

### 開宴・歓談・福引

### 閉会の辞

| 平成13年度決算報告書                   |           |
|-------------------------------|-----------|
| 自平成13年1月1日～平成13年12月31日 (単位 円) |           |
| 収入の部                          | 支出の部      |
| 科目                            | 金額        |
| 前年度繰越金                        | 312,914   |
| 総会会費                          | 609,000   |
| 広告費                           | 280,000   |
| 御祝儀                           | 440,000   |
| 収入                            | 1,000     |
| 計                             | 1,642,914 |
| 総会関係支出                        | 1,300,330 |
| 御祝儀                           | 40,000    |
| 慶祝儀                           | 15,750    |
| 諸経費                           | 40,000    |
| 総計                            | 246,834   |
| 計                             | 1,645,914 |

以上の報告を監査しましたところ、いずれも正確であることを証明します。平成13年10月

監事 屋澤佳代子  
土吉正人



懐古園のそろばん橋のところで三鬼先生と葦澤会長

原の農家にお生まれになりましたが、翌年お母様がなくなり、さらに七歳のときお父様が死去されました。お祖父様は生きておられました。小学校時代から画家にあこがれておられましたが、農業に従事している十七歳のとき結核性腹膜炎になりました。そして、小諸の病院から長野の赤十字に入院しましたが、二ヶ月で医者の反対を押し切って退院、自宅で元気がつくものは何でも食べ、冷水摩擦をして自分で病魔を克服、健康になられました。

そして、二十歳のとき、絵に対する情熱やみがたく、周囲の反対を押し切って上京、伊東深水画伯に入門しました。しかし、生活のため新聞配達、露天商、歯科医見習いなどを転々。それでも、画業に精励、新文展では五年前落選しましたが、二十七歳のとき日本画院に入選、それ以後は文展、日展などに連続入選、日展審査員からついに平成六年、日本芸術員会員になりました。平成十年小諸市名誉市民に推举されました。

こうした先生の苦闘の御一生が今年の三月十八日長野放送から、NBS月曜スペシャル「幻の母を心に秘めて—日本画家・白鳥映雪90歳」として放送されましたところ大反響

を呼びました。そこで、きょうは、ここにお目見えただいております長野放送の齋藤治雄専務取締役と宮尾哲雄制作局制作専任部長に御願いいたしましてその放送を十四分に縮めていただきまして、ここに映すことにいたしました。齋藤専務、宮尾制作専任部長に心から厚く御禮申し上げますとともに、会員の皆様が御覧下さいますよう御願い申し上げます。

最後に、不況が長引いているときではあります、しかし、御来賓、会員の皆様、きょうはいやすことは忘れ、総会の議事と小林市長の小諸の近況についてのお話などのあとは、懐かしい小諸に思いを馳せつつ、ふるさとの日本酒とワインを飲み、昔と今と明日の小諸を語り合い、小諸についての歌を唄い、福引を引いて秋の一日を存分に楽しくお過ごし下さい。

昨年に引き続き、今年も小諸から小諸節保存会より、長尾恒男家元はじめ八名がこの会のため特にお越し下さい、正調小諸節と舞踊を御披露して下さいます。まことに有難いことです。

大懇親会に入りましてからは、どうぞ出

席の皆様方同士でお唱いになるなどされて、飛び切り楽しい会にしていただきたいと思います。

なお、この如水会館は、私の母校、石原慎太郎東京都知事、田中康夫長野県知事、竹中平蔵金融・経済財政大臣らを生んだ一橋大学の同窓会館であり、飲食の方は東京会館が委託経営しておりますので、料理はとても美味しいです。どうぞたくさんお召し上がり下さい。

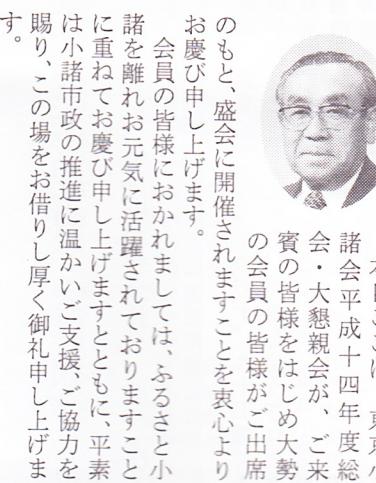
ところで、今年も、この東京小諸会総会・大懇親会のためには、役員の方々から、献身的なお力添えを頂きました。役員の方々の小諸愛にはいつも強い感銘を受けております。

また、今年も、小諸市、香坂建設・信濃培養士・シンコー土地、竹花工業、尾沼リソング園、小諸グランドキャッスルホテル・ふじや、信州味噌、小諸そば、山謙酒造、マンズワイン、高嶺商会、本会のお山田純一副会長、大池あさの副会長、小山清吾副会長、小山洋之介副会長、高橋昭平常務理事、小山陽太郎理事、柳沢紀子理事、吉澤正人監事ほかに格別の御協力をいただきました。記して厚く御禮申し上げます。

蔵をモチーフにした「芦原中学校」は、お蔭様で全面改築工事が終了し、去る六月に竣工記念式典を挙行いたしました。これにより市立小中学校の改築は終了いたしました。引き続き小諸教育の象徴であります「梅花教育」と「梅花の香りプラン」を推進し、学校教育・生涯教育の充実・新興を図つて参ります。

少子高齢化社会に向けた施策といたしましては、次代を担う子供達の健やかな成長を育むことを目的に唐松に「子育て支援センター」を設置いたしました。館内には、子供達の元気な声が響いております。介護保険事業につきましては、平成十二年度から制度を施行し、今年度で三年目を迎えました。市民皆様のご協力により順調な運営を図つておられます。より進展する少子高齢化時代に向け、皆様に安心して生活を営んでいただけるよう、福祉の充実に努めて参ります。

また、市役所の隣では来年の四月開校に向けて「小諸看護専門学校」の建設が進んでおります。これは、今までの二年制の準看護学科を三年制とし、多様化する保健・医療・福祉ニーズに対応できる総合能力と向上心を備えた看護実施者を育成するためのものであります。美里診療所の改築も進めておりますが、市内の医療機関等との連携を図る中から、安全で安心して暮せるまち作りをより推進して参ります。



## 東京小諸会平成十四年度総会・大懇親会にあたり

小諸市長 小林俊弘

本日ここに、東京小諸会平成十四年度総会・大懇親会が、ご来賓の皆様をはじめ大勢の会員の皆様がご出席

のもと、盛会に開催されますことを衷心よりお慶び申上げます。

会員の皆様におかれましては、ふるさと小諸を離れお元気に活躍されておりまますこと重ねてお慶び申上げますとともに、平素は小諸市政の推進に温かいご支援、ご協力を賜り、この場をお借りし厚く御礼申し上げま

す。

二十一世紀という新しい時代を歩み始め

た今日、少子高齢化、グローバル化、情報化等社会経済の基盤にかかる大きな変化が続いている中、生活の質の向上、環境への配慮など、眞の豊かさが実感でき、未来に夢をつなぐことのできる市政の実現が求められます。

小諸市におきましては、豊かな自然、浅間山、千曲川、緑、水を基本とし、永い間培われて参りました歴史、文化遺産、懐古園、城下町、文化財を生かしたまちづくりを、市民の皆様と行政が一体となって進め、商業・工業・農業・観光のバランスある振興と市民福祉の向上を目指しております。

新しい小諸市づくりの諸施策の一部を紹介させていただきたいと存じます。

重要課題の一つであります中心市街地の活性化につきましては、旧北国街道沿いのまち並み整備として、引き続き本町・荒町・与良・大手通りにおいて推進しております。

本町通りや馬場裏通りにおきましては、美装化工事が終了し、新しい街並みに生まれ変わりました。特に本町通りにおきましては、店舗や家屋の修理・修景事業が進んでおり、「ほんまち町屋館」を中心に往事の面影を再現しつつあります。荒町におきましては、「北国街道荒町館」が完成し、地域の拠点として活用されております。小諸の良さを全国に発信し、もてなしの心で賑わいのまちを築いていきたいと考えております。

蔵をモチーフにした「芦原中学校」は、お蔭様で全面改築工事が終了し、去る六月に竣工記念式典を挙行いたしました。これにより市立小中学校の改築は終了いたしました。引き続き小諸教育の象徴であります「梅花教育」と「梅花の香りプラン」を推進し、学校教育・生涯教育の充実・新興を図つて参ります。

少子高齢化社会に向けた施策といたしましては、次代を担う子供達の健やかな成長を育むことを目的に唐松に「子育て支援センター」を設置いたしました。館内には、子供達の元気な声が響いております。介護保険事業につきましては、平成十二年度から制度を施行し、今年度で三年目を迎えました。市民皆様のご協力により順調な運営を図つておられます。より進展する少子高齢化時代に向け、皆様に安心して生活を営んでいただけるよう、福祉の充実に努めて参ります。

また、市役所の隣では来年の四月開校に向けて「小諸看護専門学校」の建設が進んでおります。これは、今までの二年制の準看護学科を三年制とし、多様化する保健・医療・福祉ニーズに対応できる総合能力と向上心を備えた看護実施者を育成するためのものであります。美里診療所の改築も進めておりますが、市内の医療機関等との連携を図る中から、安全で安心して暮せるまち作りをより推進して参ります。

小諸市市街地、浅間連邦を一望する大久保

# 小林俊弘小諸市長

## 【合併しない宣言】



小諸市の小林俊弘市長は九日、議会九月定期会の一般質問で、合併について、「現時点では、小諸の歴史や文化など小諸らしさを大事にし、小諸市独自の道を歩む」と、事実上、合併特例法の期限内で合併はないことを表明した。

今議会一般質問で、十人の議員が登壇したが、このうち六人が合併に関する質問を展開。そのやりとりを紹介する。

### 登壇10人のうち6人が合併について質問

市長さん

一般質問のトッ

皮肉が

いよ。

○: 「十年先、二十

年先のシミュレー

ションはぜひ示すべき」な

どと指摘した。

○: 同議員は一時間

の持続時間の最後に

「ひとことだけ言わせ

て。市長さん、なんば

りましよう」のエール

を送るパフォーマンス。

飛び出した。

○: 赤尾忠男議員は

「合併しない宣言」に

反発。「九地区の懇談

会の参加者はわずか五

百人。市民総意とは言

えない。財力の弱い小

諸市がほとんど単独

でやつていいけるのか。

将来に禍根を残すこと

にならないか。佐久市

との四市町村任意合併

も合併について質問し

てきたが、その都度はつ

つと

つ

## 私の雑記帳

藤村・小諸も新風で

私は、名古屋中学時代、詩人小説家が唯一無二の志望で、大正十四年三月、八高試験に失敗、上京、法政大学の予科に入学したときも、学部は文科志望と明記した。それは当時の法政の文科は、いわゆる漱石門下生の森田草平、野上豊一郎、新城和一、田部重治氏が専任教師として鳴らしていたからだ。

ところが、予科三年を卒業する直前、父が「小説家など……」と、すこぶる不満で、法科を出て、裁判官か弁護士になつて貰いたいと言ひ出した。理由は簡単、父は四、五十の働き盛りで漁業権の問題となり、難渋、結局、破産して、同業者と競争、裁判沙汰となり、難渋、結果、破産し、また生々しい体験があつたので、一人息子の私に復讐の夢をたくしたのだった。それで、私は渋々学部は法科を選ばされた。

しかし、私は法科の勉強はサボり、詩小説を読み続け、ことに島崎藤村の詩は勿論、春、破戒、家の小説は文字通り耽溺した。

その私に、世界経済研究会の専務理事で、東京小諸会長の堺沢嘉雄氏から、八月二十日、藤村記念日、信州小諸市で開催される特別講演会の

講師を依頼、私は狂喜した。

う経済評論家・三鬼陽之助氏

野菜やチーズと合わせて 10.19.

それで私は、「世界は変る」この混迷の時代をどう生き抜くか、藤村と信州人経営者に学べ」と題して小諸グランドキヤッスルホテルで、八十分

講演、幸い好評を博した。

ひかれたのは、中学の一年の時、外人講師と喧嘩、自殺一歩手前の窮地にあつた時、先輩から「これを読んで心機一転せよ」と、藤村詩集を読みされた。六十八、九年前のことだが、先輩の言葉に間違いなかつた。これに味をしめ、私は藤村の「千曲川のスケッチ」をはじめ詩や随想を読み

さらに中学生の身で、春、家、破戒を読み、梶原壽一といふ富裕の同級生の藤写版を借り、「草枕」という小雑誌を作り、一冊十銭かで同級生に奉つて貰い、貧乏学生の小遣い稼ぎをしたのであつた。

事実、私は苦境の学生時代、藤村文学に接して、作家・山本周五郎の「いかな天与の才人でも、転び、つまづき、泥をかぶらねば本物の人間にられない」の訓言が分かる様な気持ちになつた。

その私に、島崎藤村の詩は勿論、春、破戒、家の小説は文字通り耽溺した。

それを裏書きする様に、去る八月二十三日の長野版の産経新聞は、「蟬時雨とともに藤村記念日、信州小諸市で開催される特別講演会の

も夫人と一緒に参列、藤村の理専門店「きのこの森ふるいわり家」に、家庭でも簡単で、おいしいキノコのキノコ焼きチーズかけ

う経済評論家・三鬼陽之助氏

五等分に割いたキノコとあえ、ゆずを絞りかける。

△

キノコ焼きチーズかけ

（四人分）シメジ、エリ

シタケ各百枚をさつと

水洗いして水気をよく切る。酒、水それを百合、塩少々（約二十㌘）の漬け汁に十五分漬け込み、ざるに上げて水気を切る。焦げ目が少し付くまで焼く。

大根（五分の一本）と半ユウリ一本をすり下ろし、各適量）を散らし、オーブンで七、八分焼く。

耐熱の器に四等分して盛る。とろけるチーズを一枚ずつ乗せ、細切りにしたビーフとパプリカ（赤、黄各適量）を散らし、オーブンで七、八分焼く。

## 今日の視角

今日見えるお客さまは

村の六十回忌。それにあわせ

も偉い方だとさかされ、縁先で、藤村の長男島崎楠雄さ

でかしまってお迎えしたの

人が生前書きだめていた追想

ことのないわたしが藤村の

だが、和服姿の端正な老人に

をまとめた『父藤村の思い出

月二十一日に島崎藤村が亡くなつたことは、数日後の新聞

に大きく伝えられた。国民学

校六年のわたしがそのころかお会いしたことがあったから

がただよつており、四歳の童

がただよつており、四歳の童

がただよつており、四歳の童

がただよつており、四歳の童

がただよつており、四歳の童

がただよつており、四歳の童

がただよつており、四歳の童

がただよつており、四歳の童

## 六十回目の藤村忌

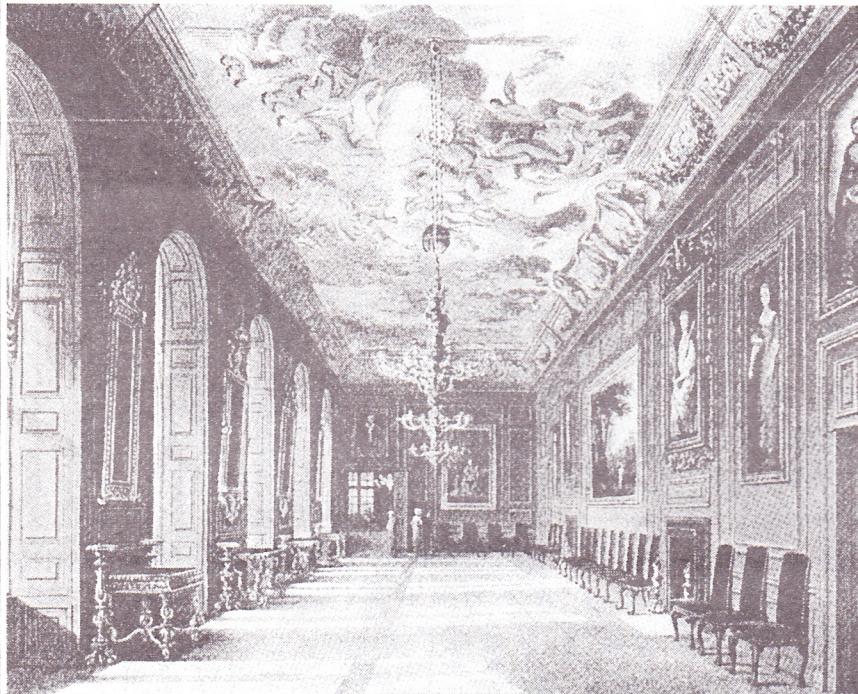
（月刊）



# 小諸グランドキャッスルホテルに 「英王宮の歴史美術館」を常設公開

世紀の傑作「1819年制作の手彩色版画」

後援：小諸市、小諸市教育委員会、小諸市観光協会、小諸商工会議所



「英國開UK98」を記念して短期展覧された歴史的作品がついに常設公開されました。バッキンガム宮殿の一部が公開された時、公式カタログに掲載された2作品は、英王室が所有するこの連作版画から転載されたものです。本展は美術的に重要であるのみならず、王室の歴史、建築、内装美術、王家の美術趣味、あるいは家具調度品などの極めて重要な情報を提供するものです。英王室の七宮殿を描いたこの作品は空前絶後の傑作であるばかりでなく美術の奇跡であります。1819年へタイム・トラベルをするような思いでご鑑賞下さい。

中山己充人



## 英王宮の歴史美術館

Tel. 0267(22)8000(代)

- 開館時間：10時～18時半（閉館19時）  
月曜休館（休日に当たる場合火曜休館）
- 入場料：大人・大・高校生1,000円  
中・小学生500円  
小諸グランドキャッスルホテル  
(長野県小諸市古城1-1-5)

小諸商工会議所発行・中諸新聞社編集 2002年9月号

島崎藤村の生誕地の木  
曾郡山口村・馬籠宿で二  
十二日、六十回忌が開か  
れた。馬籠集会所で作家  
の井出孫六さんが「詩か  
ら散文へ」小諸時代の島  
崎藤村の演題で講演。  
聴衆約百五十人が文豪を  
しのんだ。

井出さんは、藤村が小  
諸市で過ごした一八九九

山口村馬籠では  
井出さん講演会

（明治三十二）年からの  
足かけ七年で「農民など  
との交流から、新しい言  
葉を紡ぎ出そうとしてい  
た」と指摘。口語で風景  
を描く文体を「千曲川の  
スケッチ」で結実させ、  
國木田独歩とともに日本

の文学に突破口を開いた  
一と功績をたたえた。  
ぼだい寺の永昌寺での  
法要と墓参りには、同日  
夜、中津川市で藤村を主  
人公にした演劇「青春の  
賦」を上演した舞台関係  
者も参列した。

8月  
23日  
藤村60回忌  
（後編）



藤村60回忌で講演  
する井出孫六さん

島崎藤村（一八七二—  
一九四三年）の命日の二  
十二日、小諸市の懐古園

内にある藤村記念館前  
で六十回目の藤村忌花  
と歌を捧げるつどい」が  
して講話を行つた。

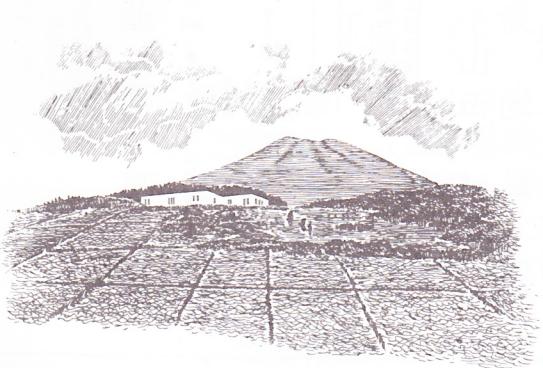


小諸市の藤村記念館前  
で開かれた「藤村忌」

洋大教授が「藤村 現代  
に問い合わせるもの」と題  
して講話を行つた。  
会場では、藤村作品が  
詩吟や合唱などで次々に  
開かれた。藤村文学愛好  
者ら約二百人が参加し、  
小諸を舞台にした作品も  
多く残した文豪の足跡を  
しのんだ。  
式では、小林俊弘市長  
が「藤村文学の思想は、  
今の時代にも大きな指針  
を与えている。先生ゆか  
りの文化都市として発展  
していきたい」と献辞を  
述べた後、神田重幸・東  
洋大教授が「藤村 現代  
に問い合わせるもの」と題  
して講話を行つた。







# 小諸

マンズワイン株式会社  
小諸ワイナリー

〒384 小諸市諸375  
☎0267-22-6341 ご見学可

5瓶 国産200g詰

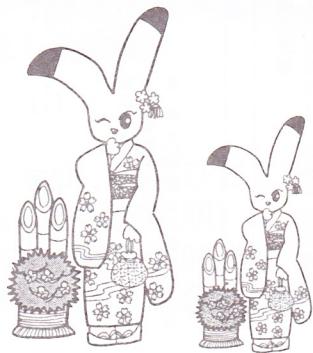
**信州博小諸の日に  
大好評頂きました**

**はな豆の缶詰です**

地元浅間高原産の一級品の原料を使用しています。  
郷土の特産として、贈答品、おみやげとして、御利用ください。  
3本詰め、6本詰め、10本詰めなど御座います。  
多少にかかわらず全国発送致します。

平成4年度長野県園芸特産展入賞  
小諸市推薦土産品認定品

株式会社 高嶺商会  
TEL 0267-22-3832  
FAX 0267-22-4396  
小諸市和田547-21



# 小諸そば

株式会社 三ツ和小諸そば事業部  
本社 〒104 東京都中央区新川2丁目13番8号 ☎03(3555)0092

## 健康を贈る 山吹味噌の特長—

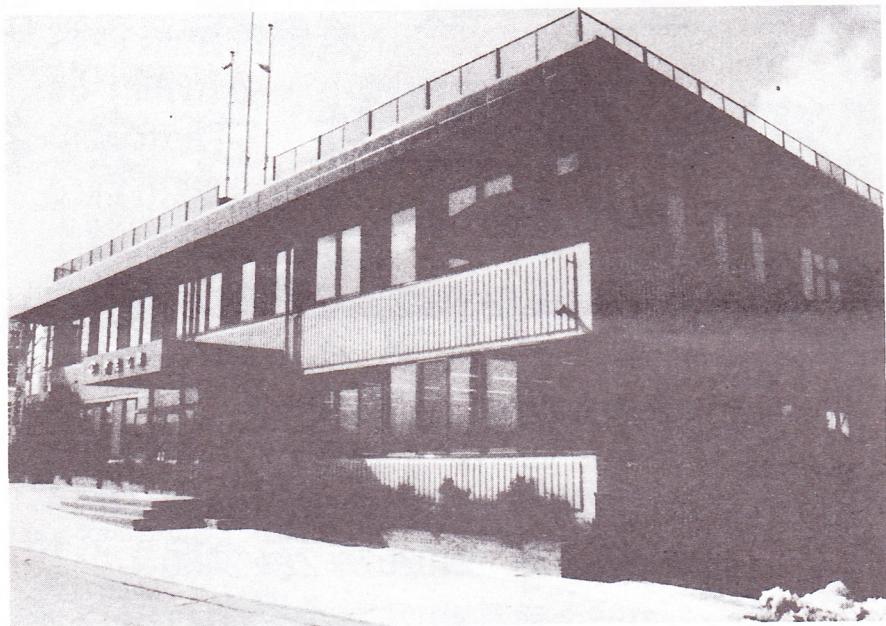
天然、自然の条件を何よりも尊重し  
味噌に最適な原料を選び  
昔ながらのみそ造りの長所を守り  
量産にこだわらず、自然の味のみを  
追求しています。

味噌づくり300有余年——

# 山吹味噌

信州味噌株式会社

本社/〒161 東京都新宿区下落合3-17-38  
TEL 03-3951-1141(代)  
工場/〒384 長野県小諸市荒町1-7-11  
TEL 0267-22-0007(代)



誠実な技術をもって地域社会に貢献する

総合建設業



竹花工業株式会社

代表取締役 山浦和人

本社 小諸市南町2-6-10 TEL.0267(22)1750(代) FAX.0267(23)3969

支店 田中 0268(62)0144・駒ヶ根 0265(82)3218・東京0425(83)7067

躍進する香坂グループ

株式会社 香 坂 建 設

信 濃 培 養 土 株 式 会 社

代表取締役 香坂 勝

株式会社 シンコー土地

代表取締役 山崎 武信

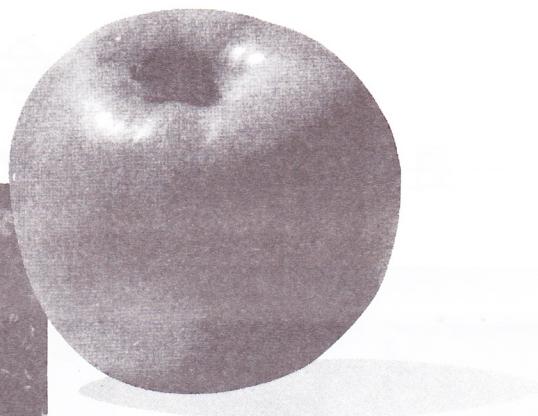
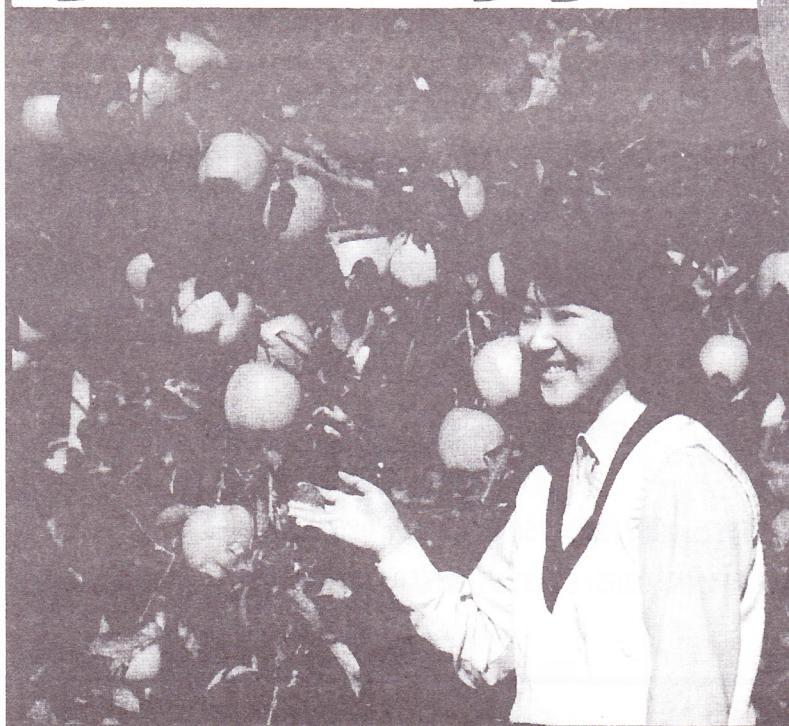
本社／小諸市甲92番地 ☎0267-22-1184（代）

信濃培養土（株） ☎0267-22-5439

（株）シンコー土地 ☎0267-25-2111

信州小諸——小諸市観光協会指定

りんご狩



尾沼りんご園

りんご園・小諸市後平 ☎0267-22-4145（夜）  
直売所・長野県小諸市栃木（国道18号沿）

TEL. 0267-22-6126

FAX. 0267-22-6126

平日(月~木)のみ/1日限定40名様(8名様以上で)

限界に挑戦 大鍋すきやきコース  
<120分、飲み放題>

お一人様  
1泊2食 9,800円 全て込み  
(サ・税込)

カニ付きとくとくコース 13,800円

お一人様1泊2食(サ・税込) / 平日(月~木)のみ

燶太郎コース

●日帰り / お一人様 4,500円~(サ・税別)  
●1泊2食 / お一人様 8,000円~(サ・税別)

信州小諸・菱野温泉

常盤館  
TEL 0267-22-0516

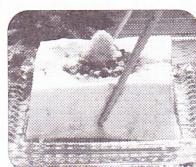


KIKKOMAN

味のあぐらしい瓶



お刺身に



冷や奴に



煮物に



原料 大豆として良質の丸大豆を100%使用

キッコーマン特選丸大豆しょうゆ

まろやかな風味、深みのあるうまい、やわらかな口あたり。  
「つけ」「かけ」「煮物」に、丸大豆100%のおいしさをどうぞ。

旅情の町、やすらぎとロマンにひたるリゾートホテル



窓からは浅間連峰北アルプスの山々が  
眺望でき、体の芯より温め、疲れを癒し  
てくれます。休憩室・男女サウナ完備。

【泉質】単純温泉

【効能】疲労回復、健康増進、  
神経痛、筋肉痛

【宿泊】一泊朝食付(税別)

6,800円~

&lt;入浴時間&gt;

6時~9時・11時~24時

【日帰り入浴】

1,000円(タオル浴衣付)

500円(タオル持参)

11時~22時

小諸温泉 小諸グランドキャッスルホテル  
小諸市古城1-1-5 Tel 0267-22-8000

さわやか信州・小諸  
紅葉狩り  
浅間山麓のトレッキングの拠点に!!

佐久の地酒・山謙酒造の花シリーズ

吟醸酒 小諸すみれ

純米酒

本醸造  
すみれ

銘醸藏

山謙酒造店

長野県小諸市市町一丁目二丁二七  
TEL/FAX 0267-33-1007

水は浅間の伏流水。  
米は山田錦・美山錦を主原料  
に、酒造りの命である、麹造  
りはむろんのこと、鑑詰に至る  
まですべて伝統にのつとつた  
手造りの地酒です。

用ください。

郷里からの贈り物にぜひご活  
用ください。

## 東京小諸会平成14年度総会・大懇親会御出席回答者名簿

平成14年11月16日(土)  
如水会館にて  
(敬称略・会員は五十音順)

35

34

28 - 3

| 日本芸術院会員・日本画家    |  | 【と】吉治(東京都)  |  |
|-----------------|--|-------------|--|
| 小諸市名誉市民・東京小諸会顧問 |  | 【な】千枝子(本町)  |  |
| 参議院議員羽田雄一郎代理    |  | 美昇(三岡村)     |  |
| 長野県議会議員         |  | 【に】雄志子(相生町) |  |
| 前小諸市長・小諸市名誉市民   |  | 嘉弘晴(相生町)    |  |
| 小諸市長            |  | 【ひ】愛清次(赤坂)  |  |
| 小諸市議会議長         |  | 子音夫(赤坂)     |  |
| 小諸市議会副議長        |  | 【ふ】かよ子(東平)  |  |
| 長野県人会連合会常務理事    |  | 生子(原良)      |  |
| 東京滑川会会长         |  | 【ほ】英毅(与良)   |  |
| " 副会長           |  | 【み】宏保(糠地)   |  |
| " 理事            |  | 【む】昭次郎(糠地)  |  |
| 東京上田会副会长        |  | 【も】久子(小原)   |  |
| 竹花工業会長          |  | 【や】昭康(取良)   |  |
| 三ツ和(小諸そば)会長     |  | 【よ】三(川辺上の平) |  |
| 長野放送専務取締役       |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| " 制作部専任部長       |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| 白鳥映画伯自伝記集担当     |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| 小諸市議会総務文教委員長    |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| " 福祉環境副委員長      |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| " 建設副委員長        |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| " 経済副委員長        |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| " 議会運営委員長       |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| 小諸市農業委員会長       |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| 小諸市代表監査委員       |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| 小諸商工会議所会頭       |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| " 副会頭           |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| " 副会頭           |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| " 副会頭           |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| " 専務理事代行        |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| 佐久浅間農業協同組合常務理事  |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| 小諸市議会議長         |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| 小諸新聞社長          |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| 小諸市助役           |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| " 収入役           |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| " 企画財政部長        |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| " 総務部長          |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| " 総務部参事・庶務課長    |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| 庶務課長補佐秘書係長      |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| 庶務課秘書係          |  | 【わ】雄知(静義)   |  |
| 庶務課秘書係          |  | 【ね】一(加瀬)    |  |
| 小諸節保存会          |  |             |  |
| 小諸保存会           |  | 【と】家元(佐久市)  |  |
| " 会長            |  | 【な】吉治(乗瀬)   |  |
| " 正師範           |  | 【に】芳堯(南町)   |  |
| " 正師範           |  | 【ひ】堯清(相生町)  |  |
| " 正師範           |  | 【ふ】堯清(相生町)  |  |
| " 舞蹈部長          |  | 【ほ】堯清(相生町)  |  |
| " 尺八部           |  | 【み】堯清(相生町)  |  |
| " 尺八部           |  | 【わ】堯清(相生町)  |  |

監

五

顧

5  
東

11

11

四

吉土渡柳中田鈴須白小小北岡石高小小大小市饗堇掘羽羽白塩香小小小小岩井山

正 佳 義 紀 美 雄 裕 武 ひ 陽 厚 尚 幸 敬 昭 洋 清 あ 純 源 章 嘉 征 雄 映 忠 峰 五 保 俊 忠 忠 正  
代 二 さ 太 三 之 さ 太 一

人子知子子郎久子じ郎郎巳美二平博介吾の一郎雄雄郎勝男郎二弘司夫一